

横須賀商議所と久里浜の商店街協力

「飲み会議」開きませんか。横須賀商工会議所は久里浜商店会協同組合と協力し、開店前の飲食店を社内会議の場として提供する事業を始めた。社内のコミュニケーションを円滑にするツールとして期待している。

(織田 匠)

開店前の飲食店を会場に 「飲み会議」で親睦を

昨年10月、同商議所は市の深刻な人口減を食い止めるための新組織「新生・横須賀実践フォーラム」を発足。団塊の世代、女性、若手経営者、高校生らでつくつ六つのミーティングで市民の意見を吸い上げて事業化した。今回の事業は「社内会議をもつと円滑にしたい」といった要望から発案された。

事業に賛同した久里浜商店街の居酒屋やレストラン、スナックなど計18店が参加。営業開始前の1時間程度を企業のミーティングや打ち合わせの場として貸し、会議後はそのまま懇親会などで利用してもらう。生ビール1杯が提供されたり、会計から10%引きしたりする特典がある。事業化の前に、同商議所は地元企業の協力を得て試行的に実施。久里浜地区の企業が利用したところ、「会議によつては重たい雰囲気のまま終わってしまう場合もあるが、そのまま宴会が

あるとリセットされ、コミュニケーションが円滑になる」といった声が寄せられた。店側にとつても、売り上げ増が見込める。

事業の説明で久里浜工業団地などを訪ねた商議所の担当者は「時代も変化して、会議の延長で飲むのはどうかという声もあった。『でも昔はそういうのをやってきたよな』という話も出ていた」という。同僚らとの「飲みニケーション」で親睦を深める良い機会としてもらう考えた。

今後は他の商店街でも同様の事業を展開していくことも視野に入れている。問い合わせは同商議所情報課 画課 ☎046(823)0421。



●居酒屋など飲食店で社内会議●終了後はそのまま懇親会や宴会へ(横須賀商工会議所提供)

高校生が制作した案内板

三浦市初声町下宮田の「黒崎の鼻」付近



「黒崎の鼻」に案内板

三浦臨海高校生徒が制作

県立三浦臨海高校(三浦市初声町入江)の美術部員が、地元住民の依頼を受けて学校近くの景勝地「黒崎の鼻」の案内板5基を制作した。このほど大型の2基が付近に設置された。

黒崎の鼻は海岸線が相模湾に突き出た一帯で、富士山が望める。映画やテレビの撮影地にも使われ、知る人ぞ知る景勝地だ。

「初声地区を元気にしよう。地域の名所をもっと知ってもらおう」と地元住民らでつくる「入江地区開発対策委員会」が同校に依頼。同委員会は入江で計画されているマンションやマリナーを含む大型開発について

業者や行政と協議、交渉する組織で、案内板の材料費などを負担した。

案内板は、風景画と黒崎の鼻について説明した2基を、現地付近の開発業者の土地に許可を得て設置。今後、1週間ほどで京急線三崎口駅から黒崎の鼻に向かう途中にも小さな案内板3基を設置し終えるという。

3年生で部長の横山さくらさん(17)は「現地には制作のために初めて行った。すぐ景色がきれいなので、知らないのはもったいなかった」。案内板については「なかなかの出来」と話した。

(山本 昭子)

ず、6月14日欠勤。4日まで休暇を特別の部署



◇横須賀市 (18) 21
パッドボー
イズ
水野
原一山平
珈光ヒナ
ズ
ス
小川内、富田
ホーネッツ
(ホ) 渡辺一
中嶋

◇横須賀市 (19)
▽サンデー
中央酒場ニ
ユーホッピ
ーズ
パコンス
スコレオ

▽レインズ
武山キヤバ
リアーズ

吉田横須賀
委員会◇横須
視察◇総合教
▽経済部▽市
▽市長・副市
ト・H・スワ
洋艦隊司令官
早苗・総務大
核市ととも
市市長会役員
▽市と三師会
平井遼子市
コム湘南・参

動